

「徳島県農業版業務継続計画（農業版BCP）」の策定について

1 趣 旨

近い将来に発生が想定されている「南海トラフ巨大地震」の大津波災害に備え、県が中心となって関係団体との連携を図りながら、被害が想定される農地等の速やかな復旧と、その後に円滑な営農再開がなされるよう、農業分野での体制整備・対策を構築するため、「徳島県農業版業務継続計画（農業版BCP）」を策定した。

2 策 定 日

平成25年6月7日

3 徳島県農業版BCPの特徴

都道府県レベルでは、全国初の策定

「BCP本体」と「別冊（マニュアル集）」の2部構成

「BCP本体」の主な記載事項

第1 総則

- ◎ 趣旨 等

第2 県農業版BCPの策定及び運用体制

- ◎ 農地津波・塩害対策協議会の設置 等

第3 被害状況の想定

- ◎ 津波による農地の浸水被害面積
- ◎ 農業用施設の被害想定箇所 等

第4 非常時優先業務

- ◎ 応急業務
- ◎ 継続の必要性の高い通常業務 等

第5 マニュアル等の整備

- ◎ 土地改良区BCPの策定推進
- ◎ 津波・塩害からの営農再開マニュアルの整備 等

第6 業務継続力の向上

- ◎ 訓練及び研修 等

- ◎ 農地の浸水被害想定面積
6,942ha（4市6町）
- ◎ 農業用施設の被害想定
排水機場 30箇所など

- ◎ 「農業用施設状況把握チェックリスト」
による被災施設の復旧の優先順位付け 等

「別冊（マニュアル集）」の記載内容

徳島県土地改良区BCPマニュアル

農業用施設の管理者である「土地改良区」におけるBCP策定のための「ひな形」となるマニュアル。

津波・塩害からの営農再開マニュアル

農業者等が円滑に営農を再開するため、除塩等の技術的手法等を取りまとめた指針。

4 今後の推進方策

- ◎ なんと金時、れんこん等ブランド製品の除塩方法の追加
- ◎ 現場での「実地訓練」を行い、体制・機能を検証
- ◎ 宮城県へ派遣している本県職員からの意見聴取
- ◎ 市町村や農業団体との連携